

エンジンメカハンガ(ATH10)取扱説明書

この度は **KTC** エンジンメカハンガをご購入頂きありがとうございます。本製品をより安全により適切にご使用して頂くために、取扱説明書をご使用前に必ずお読み下さい。(この取扱説明書は製品と一緒に保管して下さい)

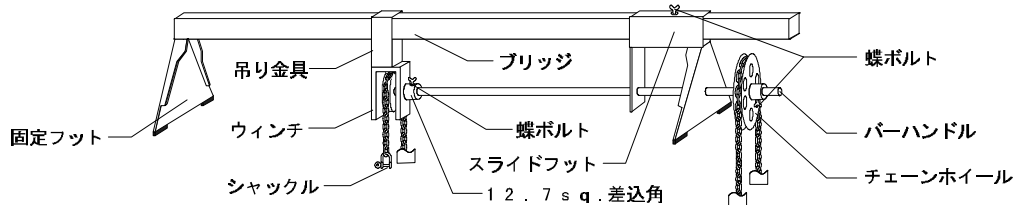
本製品は、自動車のエンジンを保持する保持専用工具です。

取扱上の注意



- 注意**
- 保持作業中、急に駆動トルクが大きくなった場合等は、直ちに作業を中止し緩めて下さい。
 - 本体に亀裂、変形等異常が発生した状態では使用しないで下さい。
 - ウィンチとエンジン間が密着するまで吊り上げないで下さい。
 - 保持されたエンジンは不安定です。叩く、揺する、移動させる等の行為をしないで下さい。
 - エンジンを保持した状態で長期間放置しないで下さい。
 - 保持した状態でエンジンの脱着作業をしないで下さい。(ジャッキとして使用しないで下さい)
 - 製品使用荷重は250kg以下を守って下さい。(エンジン保持重量250kg以下)
 - 破損原因となりますので、インパクトレンチ等で使用しないで下さい。
 - 正しくセットしていないと、エンジンが外れることがあります。
 - 設定以上の力を加えると、エンジンメカハンガが破損します。
 - エンジンマウントを全て取外して保持作業をしないで下さい。(1箇所は必ず固定して下さい)
 - 分解、改造はしないで下さい。

構造及び各部名称 本エンジンメカハンガはウィンチの12.7sq. 差込角を運す事により、ウィンチのチェーンが上下する構造です。



適用確認

作業前に対象とするエンジンを確認して下さい。適合するエンジンは次の条件を満たすものです。

- F車等の軽～普通乗用車に使用されているエンジン。
- (1BOX、トラック、2輪車等のエンジンは適用外)
- 自動車エンジン重量が250kg以下である事。
- シャックルの取付けられるエンジンフックが付いている事。
- (後付けフックも含む)

- エンジンメカハンガをセットするエプロンリブ部がある事。
- エプロンリブ勾配が15°以内である事。
- エプロンリブ間が1540mm以内である事。
- エプロンリブ巾が9mm以上である事。
- エプロンリブ部～ボンネット間が370mm以上である事。

入組内容

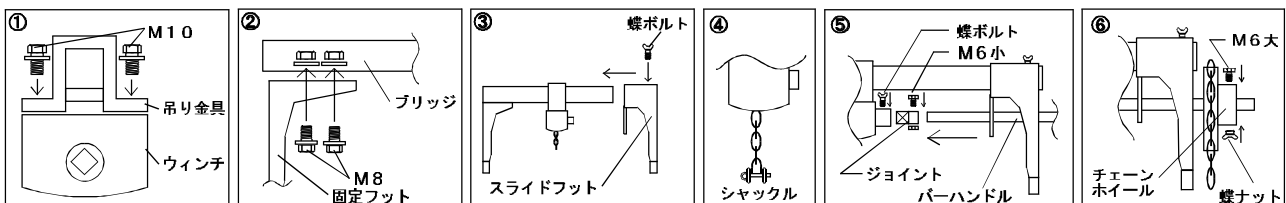
ブリッジ	1	シャックル	1	六角ボルト(M10)・ワッシャ	各2
固定フット	1	チェーンホイール	1	六角ボルト(M6大)	1
スライドフット	1	エンドレスチェーン(4m)	1	六角ボルト(M6小)	1
パーハンドル	1	ジョイント	1	蝶ナット(M6)	1
ウィンチ	1	蝶ボルト	2	六角ナット(M6)	1
吊り金具	1	六角ボルト(M8)・ナット・ワッシャ	各2		

組立方法

- 付属の取付ボルト(M10)・ワッシャでウィンチに吊り金具を取付けて下さい。
- 付属の取付ボルト(M8)・ナット・ワッシャでブリッジに固定フットを取付けて下さい。
- ブリッジにウィンチの吊り金具を差込み、スライドフットを差込んで付属の蝶ボルトで固定して下さい。
- ウィンチのチェーン先端にシャックルを取付け、セット完了です。

チェーンホイール使用時

- 付属の六角ボルト(M6小)とナット(M6)でジョイントをパーハンドルに取付け、ジョイントのドライブ角をウィンチの差込口に差込み、付属の蝶ボルトで固定して下さい。
- パーハンドルにチェーンホイールを差込み、付属の六角ボルト(M6大)と蝶ナット(M6)で固定して下さい。



パーハンドルには5箇所の固定穴を設けています。使用車種に応じて調整して下さい。

作業前点検

作業前に次の点検を行って下さい。異常があれば使用しないで下さい。

- フット、ウインチ等の取付ボルト・ナットが緩んでいない事。
- 吊り金具、スライドフット、パーハンドル、チェーンホイールがスムーズに動く事。
- ウインチのシャフトが手で廻してスムーズに回転する事。
- 各部に亀裂、変形がない事。

作業方法

クラッチ・ミッション脱着作業例

エンジンメカハンガをエプロンリブ部に乗せ、蝶ボルトにてスライドフットを固定します。(図1)

(注意)

- メカハンガのフットはエプロンリブの側面へセットして下さい。(図1)
- 車に対しメカハンガがほぼ平行な状態であるか確認します。(リブ部の傾斜角度によりバラツキがあります)
- チェーンがエンジンフックの真上に来る様にセットして下さい。(図2)

ウインチのシャフトを手で廻しチェーンを上下させ、クラッチ・ミッション側のフックにシャックルを取付けます。

ラチェットハンドル等でチェーンを巻き上げ、少し張った状態でエンジンマウントを取外します。(図3)

(注意)

- エンジンマウントの1箇所は取外さず、固定した状態で作業して下さい。

パーハンドルに取付けたジョイントのドライブ角をウインチの差込口に差込み、付属の蝶ボルトで固定します。(裏面の組立方法参照)

チェーンがフェンダーに当たらない様チェーンホイールをセットし、チェーンを取付けます。リフトアップし、エンジンの保持高さを調整し、クラッチ・ミッションの脱着作業をして下さい。

(注意)

- エンジンの保持高さ調整中は製品が不安定な為、車の下に入り込まないで下さい。(図4)
- 車の下に入っている作業は、充分に注意して行って下さい。
- リフトアップはリフトの仕様に基づき、注意事項を守って作業して下さい。

タイミングベルト交換作業例

エンジンメカハンガをエプロンリブ部に乗せ、蝶ボルトにてスライドフットを固定します。(図1)

(注意)

- メカハンガのフットはエプロンリブの側面へセットして下さい。(図1)
- 車に対しメカハンガがほぼ平行な状態であるか確認します。(リブ部の傾斜角度によりバラツキがあります)
- チェーンがエンジンフックの真上に来る様にセットして下さい。(図2)

ウインチのシャフトを手で廻し、チェーンを上下させ、エンジン側のフックにシャックルを取付けます。

ラチェットハンドル等でチェーンを巻き上げ、少し張った状態でエンジンマウントを取外します。(図5)

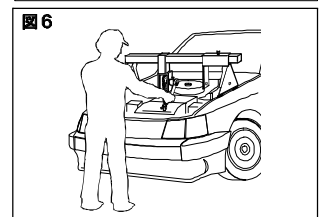
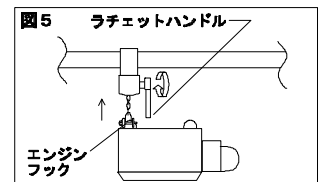
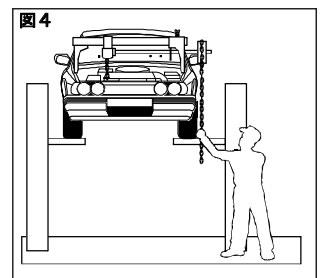
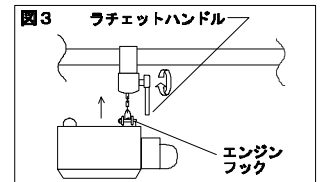
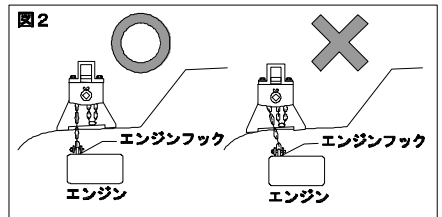
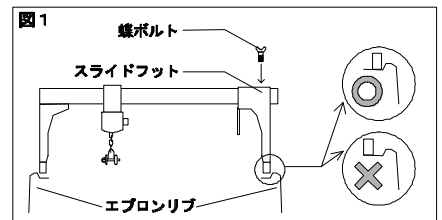
(注意)

- エンジンマウントの1箇所は取外さず、固定した状態で作業して下さい。

ラチェットハンドル等で、エンジンの保持高さを調整し、タイミングベルトの交換作業をして下さい。(図6)

その他

- ウインチ部は充分に保全し、使用前に潤滑油を塗布して下さい。(潤滑油の塗布等手入れを怠りますとウインチ内部のギアが摩耗し、破損の原因となります)
- ウインチが破損した場合、アッセンブリ交換になります。
- 保管については、ウインチ内部に異物・ほこり等が入らないようにして下さい。



製造国：日本国 製造業者の名称・所在地：京都機械工具株式会社 〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地 128 番地
TEL:0774-46-3725 FAX:0774-46-5054 URL <http://www.kyototool.co.jp/>

本製品の問い合わせは、最寄りの下記営業所までお寄せください。

支店 TEL/東京 03(3752)2261 / 名古屋 052(882)6671 / 近畿 0774(46)3711
営業所 TEL/札幌 011(824)0765 / 仙台 022(231)6322 / 関東 048(854)3213 / 金沢 076(291)4546 / 広島 082(273)0202 / 福岡 092(441)5637
出張所 TEL/四国087(885)8494